

2030年のあるべき姿



Well-beingにあふれ 未来に向けて持続発展する 田園交流都市だいせん

大仙市の将来都市像である「人が生き 人が集う 夢のある田園交流都市」の実現を見据えながら、SDGsを原動力とした多様な主体との協働の取組を進めることにより、自然環境の保全・継承と、地域の強みを活かした経済・産業の振興を実現するとともに、市民がいきいきと輝き、健康で幸せに暮らせる地域社会を構築し、Well-beingにあふれた未来に向けて持続的に発展する都市を目指します。

※Well-being…身体的、精神的、社会的にすべてが満たされた状態。多面的・持続的な幸福。

経済

地域資源を活かした魅力ある産業が育まれ 多様な人材が活躍する活力にあふれるまち



- ▶ 官民連携によるだいせんSEDプロジェクトの推進
- ▶ 農業と食に関する活性化基本構想の推進
- ▶ 地域資源を活用したツーリズムの推進

※SED(経済の持続的発展)
…Sustainable Economic Development

三側面をつなぐ統合的取組

Well-beingの土台となる健幸づくりの推進

- ▶ 全市民を対象とした健幸まちづくりプロジェクトの推進
- ▶ スポーツを起点にした市民の健幸づくりとツーリズムの推進

若者の活躍・定住に向けた仕組みと環境づくり

- ▶ 地域課題の解決に向けた若者チャレンジ応援プロジェクトの推進

SDGsの実現に向けたひとづくり・まちづくりの推進

- ▶ 官民連携によるSDGsの推進
- ▶ 将来を担う人材の育成
- ▶ 持続可能な地域づくりの推進

社会

若者が躍動し市民一人ひとりがいきいきと輝き 健幸に安心して暮らせるまち



- ▶ 出会いから結婚、出産、子育てまで切れ目のない支援の充実
- ▶ スマート自治体に向けたDXの推進
- ▶ 健幸で安心して暮らせるまちづくり
- ▶ 誰もが活躍できる環境づくり

環境

豊かな自然が守り継がれ誰もが安全・安心に暮らせる 人と環境にやさしいまち



- ▶ カーボンニュートラルの推進
- ▶ 豊かな森づくりの推進と林業の振興
- ▶ 官民連携による災害に強いまちづくり

自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

「秋田県SDGsパートナー」登録制度の活用

秋田県では、SDGsの取組を実施している企業・団体を「見える化」し、官民一体となってSDGsを原動力とした持続可能な地域社会の実現を図るため、令和3年9月に「秋田県SDGsパートナー」登録制度を創設しています。

本制度を活用し、県全体の多様な主体とのパートナーシップを構築しながら、持続可能なまちづくりを加速させるとともに、オール秋田の一員としてSDGsの推進に貢献していきます。



「大仙市SDGs取組宣言プロジェクト」の推進

SDGsに関する取組を「見える化」し、その達成に向けた市全体の機運を高めるため、市民や企業、団体の皆さんからSDGsに関する具体的な取組を宣言していただく「大仙市SDGs取組宣言プロジェクト」を令和5年度から実施しています。

より多くの方にSDGsへの理解を深め、積極的に行動に移していただけるよう、本プロジェクトの推進により「SDGsの輪」をさらに広げていきます。

